

講習No.
S23
選択

【選択】教師と子どものための メンタルヘルス

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 **平成28年11月19日(土)** 受講料 **6,000円** 対象職種 **教諭、養護教諭、栄養教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師	松田 真理子(臨床心理学部臨床心理学科准教授)
150人	6時間	筆記試験		平尾 和之(臨床心理学部臨床心理学科准教授)

主な受講対象者 小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭

講習の概要

小・中・高校時代は、様々な対人関係を通して社会性を身につけながら、一方で「自分らしさ」という個性を形成していく心理的課題に満ちた時期です。この時期には、身体的・社会的にも大きな変化をとめない、精神的不調が起こりやすくもあります。本講習では、この時期に子ども達が直面する様々な心理的課題や精神的不調、孤食や不規則な食生活に纏わる課題、摂食障害など精神・身体面での問題、そして子ども達を育み守る教師自身のメンタルヘルスについて、その理解と具体的対応・援助を学びます。

1限 9:00～10:30(90分)	2限 10:40～12:10(90分)	3限 13:10～14:40(90分)	4限 14:50～16:20(90分)	5限 16:30～17:00(30分)
子どもの発達課題と心の不調 学童期・思春期の各年代における発達課題と心の不調についてエリクソンのライフサイクル理論と精神医学の観点からお話しいたします。	学校現場における課題と具体的対応 学童期・思春期の子どもの精神的不調に対する具体的対応、学校現場での課題、父母への対応と支援、医療機関との連携、教職員自身のメンタルヘルスなどにつき、演者のスクールカウンセラーとしての経験を踏まえながらお話しいたします。	教師の精神的不調の理解と援助 教師に起こりやすい精神的不調(ストレス関連、不眠、不安、うつ)の理解と援助について、精神科医としての経験を踏まえながら、お話しいたします。	子どもの精神的不調の理解と援助 学童期・思春期の子どもに起こりやすい精神的不調(発達障害・虐待にともなう問題、自律神経症状、不安・うつ、摂食障害、そしていま話題の精神病様体験まで)の理解と援助について、精神科医としての経験を踏まえながら、お話しいたします。	修了認定試験